

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科書	東京書籍	科目	化学	学年	3年次	単位数	4単位
教科書	東京書籍	化学Vol.1 理論編	化学Vol.2 物質編	副教材	なし		
レポート 添削指導	12通	スクーリング 面接指導	16回	メディア 視聴票	9通	試験	2回
指導目標	・気体、液体、固体の性質を探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 ・化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡を探究し、化学反応に関する概念や法則を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 ・無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 ・有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 ・高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴を理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。 ・上記の目標を達成するために探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、化学的に探究する能力を高める。						
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア(東京書籍 教科書授業インターネット講座)	
1	4月12日	5月8日	1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質	・物質の三態 ・気体 ・気体・液体の状態変化 ・気体の状態方程式	2	1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質	
2	5月8日	5月22日	3章 溶液の性質 4章 固体の構造	・溶解 ・コロイド ・結晶 ・イオン結晶の構造	1	3章 溶液の性質 4章 固体の構造	
3	5月22日	6月5日	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光	・反応とエンタルピー変化 ・光とエネルギー	1	2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光	
4	6月5日	6月19日	2章 電池と電気分解	・電池 ・電気分解	1	2章 電池と電気分解	
5	6月19日	7月3日	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ	・反応の速さ ・反応のしくみ	1	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ	
6	7月3日	7月17日	2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡	・可逆反応と化学平衡 ・電離平衡	2	2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡	
7	7月17日	10月16日	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物	・周期表と元素 ・水素とその化合物 ・酸素とその化合物 ・硫黄とその化合物 ・炭素・ケイ素とその化合物 ・アルカリ金属とその化合物 ・アルカリ土類金属とその化合物 ・1・2族以外の典型金属元素とその化合物	2	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物	
8	10月16日	10月29日	4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認	・遷移元素の特徴 ・金属イオンが検出できる反応 ・金属イオンの系統分離と確認	1	4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認	
9	10月29日	11月13日	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素	・有機化合物の特徴 ・飽和炭化水素	1	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素	
10	11月13日	11月27日	3章 アルコールと関連化合物	・アルコールとエーテル ・カルボン酸	1	3章 アルコールと関連化合物	
11	11月27日	12月11日	4章 芳香族化合物 6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か	・芳香族炭化水素 ・芳香族アミンとアゾ化合物 ・フェノール類と芳香族カルボン酸 ・芳香族化合物の分離 ・高分子化合物の分類と特徴	1	4章 芳香族化合物 6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か	
12	12月11日	1月23日	2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 7編 化学が果たす役割 1章 科学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学	・単糖類と二糖類 ・アミノ酸 ・合成繊維 ・ゴム ・多糖類 ・タンパク質 ・合成樹脂	2	2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 7編 化学が果たす役割 1章 科学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学	
学習の成果に係る評価規準							
【知識・技能】 化学が果たす役割についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。							
【思考力・判断力・表現力】 化学が果たす役割について、問題を見いだし見通しをもった実験・観察などを推敲することができ、科学的な考察・表現ができています。							
【主体的に学習に取り組む態度】 化学が果たす役割について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。							
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。 ○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。							
単位の修得の認定に関する基準							
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。							